

社会共生実習とは

社会学部全3学科が共同で運営する、現場主義を体現する地域連携型の実習です。

社会共生実習では

社会で活躍できる力を養います。
現代社会の課題を深く知り、連携先の方々と共に解決を目指します。

受講生の声

「地域エンパワメント」では、コミュニケーション能力や創造する力などが向上し、何より主体的に動けるようになりました。今まではなんでも人任せで妥協する性格でした。しかし、自分から行動すれば、今まで気づかなかった発見ができ、実習が自然と楽しくなることを知りました。大変なこともありますが、それ以上に終えた時の達成感は、格別です!



「伏見の食材を活かした特産品づくりと地域連携」では、商品開発におけるノウハウだけでなく、京都の食材や衛生管理制度まで学ぶことができ、充実した時間を過ごせました。また、商品開発にあたって、誰が・いつ・どう食べるのか、調理法はどれが良いのかなどと、掘り下げれば掘り下げるほど課題や問題点が見つかり、試行錯誤の繰り返しでした。だからこそ、多角的な視点から物事を見ることができるようになりました!



「雑創の森プレイスクールプレイワーカー」は、子どもの成長を間近で見ることができる、楽しくアクティブな実習です。子どもとの関わり方は自由に考えることができますが、そこが逆に難しかったです。ぜひ自分の方法を見つけて子どもたちと全力で関わってください!



「大学は社会共生に何ができるのかー文化財から“マネー”を創出するー」では、京都や滋賀の観光先進地を訪れたり、NPOや博物館の方などの講話によって見識を深め、どのように観光客やマネーを創出しているのかを学ぶことができます。フィールド調査の方法や講師の方との連絡など、社会調査に必要なことも学ぶことができます!



他にも毎年ユニークなプロジェクトが開講されます!

「社会共生実習支援室」には専門のスタッフが常駐し、実習のサポートをおこないます。そのほか、講座や講演会などを主催し、学生のスキルアップを図っています。

カメラ撮影講座

地域における実習や授業内でのワークショップが活発に行われています。そのなかで、記録写真や取材写真を撮る機会が多いため、対象の魅力をうまく伝える写真を撮るためのスキル向上を目的に、本講座を開催しています。

本講座では、構図や露出などの写真撮影の基礎や撮影後の写真データの編集についてなどをスマートフォンの操作方法とあわせて学ぶことができます。



マナー講座

特に地域の方と学生が接する機会が多い実習なので、受講生には節度ある行動が不可欠です。

本講座では、電話応対やメールを送る際の礼儀、訪問先での所作など、基本的ではあるものの、高校生までに習う機会が少なかったマナーを学びます。

受講した学生からは、「実習で実際に外部の方にアポイントメントをとる予定だったので、大いに役立ちました。」「これからインターンシップや就職活動がはじまるので、しっかりとマナーを守れるようにしたいです。とても為になりました。」というような声が寄せられています。



コミュニケーション講座

チームを作って活動したり、地域の方と意見交換をする機会が多くなります。自分とは違う意見を持った人と対峙したときに、どのように乗り越えるべきか。その答えをさまざまな業界で活躍する諸先輩方に学ぶ機会として本講座を開催しています。

本講座でさまざまな考え方に触れて、目の前の問題へ立ち向かう原動力や自分自身を見直すキッカケとなることを期待しています。



※上記以外にも、「社会共生実習」のOB・OGとの交流の場の提供など、多岐にわたり企画しています。



お問い合わせ先

龍谷大学

社会学部教務課 社会共生実習支援室(6号館106号室)

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5

TEL: 077-544-7230 / FAX: 077-543-7615

Mail: co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

ホームページ: <https://www.soc.ryukoku.ac.jp/department/info/training/>

バスでお越しの方 ← 車でお越しの方
※車でお越しの方は、守衛所で入構手続きをおこなってください。

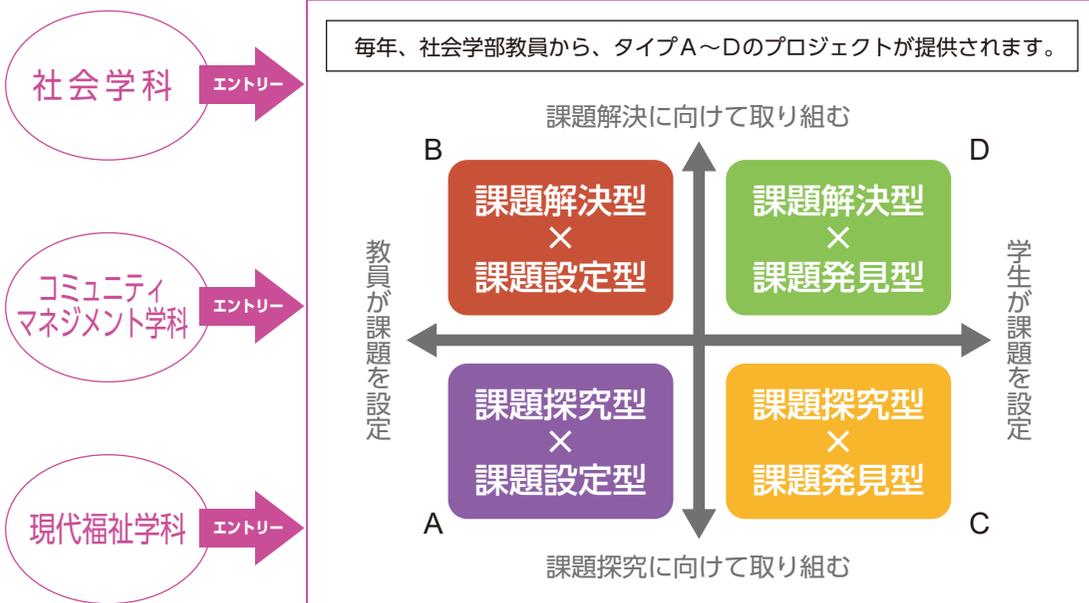


1～2月頃の事前登録時に希望するプロジェクトへエントリー！

(3月に受講可否判定結果発表)

前期

後期



事前学習をおこない基礎知識を得て、各プロジェクトの担当教員が提供する連携先の地域で活動開始！

課題について調べたり、連携先での社会活動への参加などを通して現場を学びます！

前期の活動を通して更に深く課題を知り、解決・探究に取り組みます！

「社会共生実習活動報告会」で、連携先の方や他学生に活動の成果を発表！

目指すのは、地域との協働を通じた社会共生！

下表すべての単位を修得すると卒業時に社会学部長名にて

「社会共生実践プログラム認定証」

が交付されます。

※詳しくは履修要項をご確認ください

	【必修科目】とその他修得科目の特性	必要単位数
基礎科目	【現場主義入門】	2
	社会共生の基礎を理解する科目	6
発展科目	地域社会の理解に関する科目	4
	課題解決の原理と方法に関する科目	6
	分野別課題の理解と活動に関する科目	4
学科指定科目	学科が指定する科目	2
実習科目	【社会共生実習ⅠA～ⅢB】	6

3年目 ひとりのプロジェクトを3年積み上げてもヨシ！

2年目 毎年ちがうプロジェクトを受講してもヨシ！

1年目 1年生のあいだに地域協働について学び、学習意欲を高める

社会学部の2年生以上の学生が受講可能！！

社会共生実習ⅠA～ⅢB

※受講生の声より

- 「実習での成功も失敗も自分の成長につながる！」
- 「みなぎるやる気を発揮できる実習！」
- 「自分たちで考えて行動できる授業は他にはない！」
- 「他者との関わりのおかげで視野が広がった！」
- 「社会人の練習のような経験ができる！」

今までに開講されたプロジェクトの紹介

- The First Aid (2017～2019)**
学生自らが地域防災に関するユニークなプランを社会に提供することを目指す実習です。
- 地域エンパワねっと (2007～)**
地域の課題について、住民の方とともに解決策を探り、実習での成果を関係する皆さんに共有する実習です。
- 「りとるたんご大学2017年度夏学期」プロジェクト(2017前期)**
地元の方々と協力して「大学的な学びの場」を作ること、自らも学ぶ実習です。
- 雑創の森プレイスクール プレイワーカー (2017～)**
冒険遊び場(プレイパーク)で知識や技術を学び、子どもたちの遊びを上手に支援できることを目指す実習です。
- 大学は社会共生に何ができるのか -文化財から“マネー”を創出する- (2019～)**
滋賀の文化財というリソースを最大限活用し、マネーの創出法を学生・行政・NPOのコラボで考える実習です。
- 「子どもにやさしいまち」を作ろう (2017～2019)**
貧困、虐待、いじめ、体罰など、子どもが苦しんでいる問題について体験型学習をおこなう実習です。
- 里地里山生活史プロジェクト (2017～2018)**
自然と共生する里地里山の暮らしをしてきた皆さんの生活を丹念に聞き取り、記録する実習です。
- お寺で地域づくりプロジェクト(2019)**
お寺でおこなわれている子どもや高齢者の居場所づくりなどの活動に参画し、その活動を広報する実習です。
- 伏見の食材を活かした特産品づくりと地域連携 (2019～)**
京都伏見ゆかりの食材を使い、地域の人たちと協力しながら、新しい特産品開発を目指す実習です。